

刺鍼部位としての筋硬結と Fascia

: 触診とエコーから探る

令和4年度
第2回学術研修会

主催 鍼灸学会 Tokyo

【講師紹介】

【講演1】



諏訪中央病院リウマチ・
膠原病内科医長

須田万勢 先生

エコーと局所解剖・生理学から見た
筋硬結と Fascia

【講演2】



東京大学医学部附属病院
リハビリテーション部鍼灸部門

林健太郎 先生

触診と Real-time Tissue Elastography
による刺鍼部位の評価と鍼治療の影響
－肩こり自覚者を中心とした考察－

詳細は裏面をご覧ください

日時：令和4年7月3日(日) 13:00~16:10

一般参加費：5,000円（鍼灸学会 Tokyo 会員は無料）

会場：オンライン開催（Zoom）

申込締切：2022年6月26日(日) 定員100名

一般申込 URL：<https://www.sgtokyo.org/event202207>

※）会員は別途案内をお送りしますので申込不要です。

新規入会された場合も参加費は無料となります。

（但し、申込締切りまでに入会手続きと会費4,000円の納入をお願いします）

入会希望の方は鍼灸学会 Tokyo ホームページよりお申し込みください。

URL：<https://www.sgtokyo.org/>

（右のQRコードからもアクセスできます）

※）鍼灸学会 Tokyo は全日本鍼灸学会とは異なる団体ですのでご注意ください。



テーマ「刺鍼部位としての筋硬結と Fascia:触診とエコーから探る」

我々鍼灸師が鍼を刺入する対象として、体表上から触れるコリや筋硬結部分などを目安にしますが、実際のところ組織的には何がどのようになっていて、刺鍼によりどのような変化が起こるのでしょうか？

コリや筋硬結について筋の硬さを指標に客観的に評価しようという試みは以前より行われてきましたが、近年はエコーを利用した超音波エラストグラフィーの手法を用い、筋の組織硬度を指標として筋硬結を数値的に解析しようとする研究が鍼灸業界においても始まっています。

今回の研修会では、最新の知見とともに新しい視点からみたコリ、筋硬結と Fascia について専門の先生方にご講演いただき、理解を深めることを目的とします。

講師には、筋硬結と Fascia についてご造詣が深く、筋膜性疼痛に対しエコーを用いたハイドロリリースを臨床で実践されている医師の須田万勢先生と、エコーによる超音波エラストグラフィーを指標に肩コリと鍼灸の効果についての研究をされている鍼灸師の林健太郎先生に、基礎的な内容からエコーを用いた最新の研究についてお話いただき、統合討論を予定しております。

【講師紹介】

講演1 「エコーと局所解剖・生理学から見た筋硬結と Fascia」



諏訪中央病院リウマチ・
膠原病内科医長
須田万勢 先生

【略歴】

2009年 東京大学医学部卒
諏訪中央病院で初期研修と後期研修修了。聖路加国際病院リウマチ膠原病センターを経て、2019年より諏訪中央病院。

杏林大学医学部附属病院 リウマチ膠原病内科 非常勤講師
自治医科大学 内科学講座アレルギー膠原病額部門 非常勤講師
聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター 非常勤医師
茅野市 DX 推進課 DX 推進幹
日本リウマチ学会(リウマチ専門医・指導医)、日本プライマリケア学会(家庭医療専門医)、
日本内科学会(内科認定医)、日本東洋医学学会、日本骨粗鬆症学会(認定医)

講演2 「触診と Real-time Tissue Elastography による刺鍼部位の評価と鍼治療の影響－肩こり自覚者を中心とした考察－」



東京大学医学部附属病院
リハビリテーション部鍼灸部門
林健太郎 先生

【略歴】

2008年 国際鍼灸専門学校卒業。筑波大学理療科教員養成施設卒業後に臨床専攻課程修了。
筑波大学での研究職や鍼灸養成学校での教員を経て、2017年 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部 入職。

筑波大学理療科教員養成施設 非常勤講師
東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科 非常勤講師
国際鍼灸専門学校 非常勤講師
呉竹医療専門学校教員養成科 非常勤講師

所属学会
全日本鍼灸学会、日本東洋医学系物理療法学会、現代医療鍼灸臨床研究会

日時 2022年7月3日(日) 13:00~16:10

会場 オンライン開催 (Zoom)

一般参加費 5,000円 (鍼灸学会 Tokyo 会員は無料)

申込締切 2022年6月26日(日)

※) 会員は別途案内をお送りしますので申込不要です。

主催 鍼灸学会 Tokyo

URL : <https://www.sgtokyo.org/>



タイムスケジュール

13:00 ~ 13:05	講師紹介	(5分)
13:05 ~ 14:15	講演①	(70分)
14:15 ~ 14:20	休憩	(5分)
14:20 ~ 15:30	講演②	(70分)
15:30 ~ 15:35	休憩	(5分)
15:35 ~ 16:10	総合討論・質疑	(35分)